

(前頁から続く)

加わり、共に汗を流し、ボランティア先に喜んでいただける、そんな「環境づくり」「基盤づくり」に新年度は本格的に取り組みたいと考えています。

わに寄せられた熱い期待を裏切らないよう、引き続き誠心、誠意事業運営に邁進することをお誓い申し上げ理事長就任の挨拶といたします。どうか、よろしくお力添えいただきよう引き続きお願い申し上げます。

西田 圭一 副理事長(兼 財務部担当・正)

「組織の再編成」

NPO法人になり6年目を迎えるが、グループわは今後どう進むのか見えない。

現在、本部、区会、部会がそれぞれの立場で活動しているに過ぎなく組織化されていない。

また、震災から15年が経過しようとしているが、年々ボランティア活動への関心が薄らいできている現状から見て、ボランティア活動のあり方(わの定款では何でもできる事業目的になっている。)を再検討しなければならないと思う。

本部役員として今後グループわの目標を明確に打ち出し、組織の統一を図らなければならないと考える。

今後の活動方針を考えるに当たり、今までの活動状況を重視して、今後、子供中心の活動、即ち、子供の健全育成のための活動を中心に 伝承文化の継承 環境、自然教育の支援 防災教育の支援

学習支援等を本部、区会、部会がそれぞればらばらに活動するのではなく、組織の再編成をはかり、地域活動中心に展開を図るよう方向付けをしていきたい。

清水 英暢 副理事長(兼 事業担当・正)

「大阪のおばちゃんから神戸のおじちゃんへ」

1年前「大阪のおばちゃんになりたい」との気持ちで本部の一員として活動に参加したが、やっと全体像が掴めてきた。よく疑問をぶっつけて、なるほどと理解することも多かった。これはこれで大切なことだと思う。わの出来ていないことも見えてきた。2年目に入って、少しは役に立つこともしたいと思う今日このごろです。本部にいる

と、つい頭で考えるだけになる傾向があるので、意識して現場を見て体験していきたいと思います。10年選手など数人の先輩が抜け、寂しい気持ちもあるが、新しい本部担当者も加わり、ちょっと先輩風吹かそうかと考えていたら、後輩の方が年上で活動も熱心。これは当てが外れた。今年は震災時のボランティアのありがたさを忘れないよう「神戸のおじちゃんになろう」と、また1年生の気持ちでがんばります。ご指導のほどよろしくお願い致します。

長谷川 洸士 理事(企画・広報部担当・副)

「3年目の新人」

グループわに広報担当として参加して2年、情報誌の在り方の改革半ばにして、今度は企画担当として、本部機構の諸規定類の制定、区会、部会の活性化対策を推進することになりました。

グループわがNPO法人となってからも、ボランティア活動を精力的に推進して来ましたが、法人として運営していく基本的規範に関して十分な整備がされているとは言えず、常識的に考えられる最低限のルールを成文化して、その必要性を理解して頂き、これを遵守することにより、会員の皆さん誰もが安心して、間違いなくボランティア活動を他のNPO法人、関係団体とも協力することができるよう体制を整備してゆきたい。会員の皆様のご協力をお願いします。

渡邊佳視 理事(事務局長 総務担当・正)

「健康管理に気を配りながら」

事務局の仕事の内容を一覧しますと、小さな文字でA4の用紙数枚にぎっしり詰めても直余りある、多岐・広範な仕事があるのがわかります。そのごく一部だけがやっと分かりかけたところに1年が終わってしまいました。2年目は事務局長という大きな荷がのしかかっていたのスタートをきって、早や3ヶ月を終わろうとしています。

これからも、“わ”本部の歯車の一つとして、ますます順調に着実に回り続けることができるように、一番大切な自身の健康管理に気を配りながら、諸先輩の指導を仰ぎつつ、誠心誠意努める覚悟です。ご協力ご支援をよろしくお願い致します。

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)